

目指せ! データサイエンスティスト

15 音楽鑑賞編



滋賀大学の
鈴木真琴先生の
解説

今回は音楽鑑賞での
データサイエンスの活用に
ついて紹介します

ボーカロイドなどの音声合成システムの発達により、誰もが自宅にいながらも楽曲を作れる時代になりました。また、インターネットの音楽配信サービスの普及により、以前よりもさまざまな音楽に、より気軽にアクセスできるようになりました。しかし、このたくさんの楽曲の中から自分にぴったりのものを見つけるのは簡単ではありません。そこで最近注目されているのが、AI技術を利用した楽曲提案のシステムです。

その場の雰囲気や
好みに合った楽曲を提案!

メロディーやイメージなどの楽曲情報をAIに学習・分析させ、利用者が求める特徴を持った楽曲を提案するシステムの開発が進められています。このシステムを使うことでイメージに合った楽曲を見つけることができるようになるのです。また、最近では新たな楽曲を生み出す生成AIの活躍も期待されています。

データサイエンスとは?

大量の情報やデータを分析して役に立つ情報を得たり、将来の予測を立てたりする研究のことです。



監修: 鈴木 真琴(滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター特任助教)
制作: 滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター、近江テック・アカデミー マンガ: 岡本 圭一郎

ユーザーの好み解析し選曲

と、次々とおすすめ曲が表示されます。それもAIが分析しておすすめしているんですか?

鈴木先生 まさにそうだよ。ある音楽配信サービスは、何百万というユーザーの好みを解析した上で、聴いている曲や趣味が似ている人たちのグループ化し、そのグループの中から楽曲を提案しているんだ。

かなで 漫画の中で「AIに曲の印象を学ばせる」とありますが、AIがどうやって学んでいるんですか?

鈴木先生 例えば楽曲のさまざまな要素を数値化する方法があるよ。曲のエネルギーやテンポといった情報を数値にしてAIに学習させることで、似たような曲やアーティストを提案しているんだ。

かなで おすすめされると、つい聴いてしまいます。一から曲を探すときは「クリスマス 盛り上がる」とかキーワードを入れるんですか?

鈴木先生 そういった検索も可能だけど、現在の音楽配信サービスでは人が作ったプレイリストや曲名に検索キーワードが含まれる曲が、結果として出てくることが多いよ。漫画のようにイメージをもとに検索できるのは、もう少し未来の話かな。

(構成・編集部)



鈴木先生
学6年生
かなで(小)
インターネットの音楽配信サービスで曲を聴いている

おしえて先生!